

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業振興センター

「稲作情報（第12号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第12号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R5 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R5 (hr)	平年比 (%)
8月	1	28.3	31.1	2.8	33.4	37.7	4.3	24.5	26.2	1.7	29.3	0.0	0	35.5	55.0	155
	2	28.2			33.3			24.5			30.0			34.7		
	3	28.0			33.0			24.4			32.8			32.8		
	4	27.6			32.6			24.1			35.0			31.4		
	5	27.1			32.2			23.5			37.9			30.1		
	6	26.4			31.5			22.8			48.6			34.3		

○8月1半月の平均気温は平年より2.8°Cと高く多照傾向で推移した。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：8月7日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
さがびより 6/22 移植 武雄市橋町	本年値	66.2	437	12.1	34.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は平年より低く、茎数は多い。</li> <li>主稈出葉数は平年並み。</li> <li>葉色は平年より淡い。</li> <li>※幼穂形成始期 8月6日頃</li> <li>※幼穂長2mm</li> </ul>
	平年値	72.1	425	12.2	37.1	
	平年比	92	103	+0.1	-2.6	

※さがびよりの平年値はH21～R4の平均値。 耕種概要は稲作情報第9号参照

3. 管内の生育状況（8月8日時点）

- 1) 夢しずく（普通期）：現在、穂孕期～出穂期である。全般的に草丈は高く茎数は少ない。
- 2) ヒノヒカリ・さがびより：幼穂形成期である。

4. 今後の管理

(1) 夢しずく（普通期）

- 現在、穂孕期～出穂期である。
- ・幼穂形成期から穂揃期にかけては要水量が増加する時期です。必ず湛水管理を徹底する。
- ・穂揃い期以降は間断灌水を行い、土壌を固めると共に根の活性化を図る。（土が柔らかい圃場では、間断灌水の断水期間を長めにし土を固める。）
- ・初期生育量が十分に確保できずに、幼穂形成期以降草丈が伸長しうっぺいした圃場を散見する。また、葉色が濃い圃場では、上位葉に「いもち病」を確認しているのので、臨機防除を行う。

(2) 普通期水稻

- 現在、生育ステージは幼穂形成期である。
- ・水管理は夢しずく同様。
- ・葉色が濃くうっぺいした圃場では、「葉いもち病」の病斑を確認している。



### 3) 斑点米カメムシ

- ・「夢しずく」は出穂期を迎えており、斑点米カメムシ類を中心とした乳熟期（穂揃い後10日目頃）の防除を徹底して、斑点米カメムシの被害防止を図る。

発生が多い圃場では穂揃い期（出穂後5日目頃）と乳熟期の2回防除を実施する。

**★多発生の目安 ⇒ 20回のすくいとり調査でカメムシが5頭以上の場合  
(穂揃期～乳熟期)**

- ・出穂10日前までの畦畔除草は、耕種的防除の観点から効果的である。カメムシはイネ科雑草を好むことから畦畔だけでなく圃場内に発生している雑草の除草も併せて行うよう努める。畦畔を100m歩いて、カメムシが3頭いたら、要注意である。

エノコログサやヒエが多発している畦畔はカメムシの住処となっている



### 4) 紋枯病

- ・幼穂形成期以降は、各品種とも病気に対する抵抗力が弱まる。今後気温が高くなることから、紋枯病が一気に進展する可能性があるため発生には十分注意する。
- ・病斑が上位葉の葉鞘に進展する前の防除が効果的である。  
(液剤、粉剤の場合は出穂10日～20日前の防除を目安とする)



紋枯病

### 5) 台風対策

- 台風対策は、水稻の生育ステージによって異なりますが、本田移植後（活着期以降）は、**強風による水稻の茎葉の水分収奪や損傷を防止するため、必ず深水管理を行う。**併せて、台風通過後は、新しい水と入れ替え、こまめな間断灌水や浅水管理を行って根の機能回復に努める。

現在、ヒノヒカリ、さがびより、ヒヨクモチ等は最も用水を必要とする幼穂形成期～穂孕み期をむかえている。台風が接近する前に、必ず圃場は湛水状態を保ち、対策に講ずる。

令和5年産 水稲作付期間気象図  
アメダス観測値(白石)

